

<領域：介護>**生活支援技術**

問題 35 次の記述のうち、介護福祉職が行う利用者の生活支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者ができないことを代わりに行うことに重点を置く。
- 2 利用者の全体像をとらえて支援する。
- 3 利用者がすべてを自分一人でできるようにする。
- 4 利用者の生活の効率化を図ることを目標にする。
- 5 利用者に同情する気持ちで寄り添う。

問題 36 介護老人福祉施設における、快適な室内環境に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 風の通り道をつくって、換気を行う。
- 2 手すりは、壁紙と同じ色を使う。
- 3 ベッドライトの光源は、利用者の目に直接あたるように調整する。
- 4 カビの発生を予防するために、湿度は高く保つ。
- 5 靴音を小さくするために、硬い床材にする。

問題 37 パーキンソン病(Parkinson disease)の人の住まいに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 玄関の段差には、スロープを設置する。
- 2 廊下の床には、歩幅に合わせて目印をつける。
- 3 リビングの床には、大ききの違うカーペットを重ねて敷く。
- 4 移動空間が狭くなるように、家具を配置する。
- 5 リビングは1階、浴室は2階にして、階段で行き来する。

問題 38 次の記述のうち、歩行が不安定になり、移動の意欲が低下している利用者に対する介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 福祉用具の使用は避けて、自力での歩行を目指すように促す。
- 2 移動の目的を伝えるよりも、歩行機能の改善を優先する。
- 3 成功体験を積み重ねることができるように、達成可能な歩行の目標距離を設定する。
- 4 歩行の不安定さに合わせて、移動範囲を縮小する。
- 5 本人が希望しなくても、介護福祉職の判断で毎日歩くことを目標にする。

問題 39 次の記述のうち、右片麻痺みぎかたまひのある利用者に対する、仰臥位ぎょうがい(背臥位はいがい)から車いすへの移乗の介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者に右側臥位みぎそくがいになって起き上がるように促す。
- 2 端座位になった利用者の左側に立つ。
- 3 端座位になった利用者の右側に、車いすを置く。
- 4 車いすのフットサポートは下げておく。
- 5 移乗するときは、利用者に前傾姿勢をとるように促す。

問題 40 視覚障害者の歩行時の誘導に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護福祉職は、利用者の半歩後ろで背中を支えながら歩く。
- 2 介護福祉職は、はくじょう白杖に触れながら歩く。
- 3 狭い通路では、介護福祉職は利用者の後ろを歩く。
- 4 階段利用時は、介護福祉職は階段の前で声かけして止まる。
- 5 介護福祉職は、利用者が握っている上肢を振って歩く。

問題 41 身じたくの目的に関する次の記述のうち、国際生活機能分類(I C F)における「心身機能・身体構造」の観点と考えられるものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 体温を調整する。
- 2 身体を清潔に保つ。
- 3 セルフケアを行う。
- 4 自分を表現する。
- 5 周囲との人間関係を調整する。

問題 42 次の記述のうち、介護が必要な利用者へのこうくう口腔ケアとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ぎょうがい はいがい仰臥位(背臥位)で行う。
- 2 しこう歯垢を除去するためにうがいをしてもらう。
- 3 歯ブラシで歯を1, 2本ずつ磨く。
- 4 スポンジブラシは乾いた状態で使用する。
- 5 部分床義歯(局部床義歯)はつけたまま行う。

問題 43 次のうち、右片麻痺みぎかたまひの利用者が前開きの上着を着脱するときに介護福祉職が行う説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「脱ぐときは、左肩の衣服を下げてから、右側の袖から腕を抜きましょう」
- 2 「脱ぐときは、右肩の衣服を下げてから、右側の袖から腕を抜きましょう」
- 3 「襟元を手前にして、腿ももの上に置きましょう」
- 4 「着るときは、右袖を肘まで通してから、左袖を通しましょう」
- 5 「着るときは、右袖を肩まで通してから、左袖を通しましょう」

問題 44 次の記述のうち、介護老人福祉施設における食事に関する支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食堂の換気は、不要である。
- 2 食事中は、会話を控えるようにする。
- 3 食事が楽しくなるような雰囲気をつくる。
- 4 食べ終わった利用者の食器は、すぐに下膳する。
- 5 照明は、明るさを25ルクス(lx)以下にする。

問題 45 次の記述のうち、椅子に座って食事をするときに、利用者が食事をしやすい姿勢を確保するための介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 足底を床につけてもらう。
- 2 テーブルと身体の間は30cm離してもらう。
- 3 椅子に浅く座ってもらう。
- 4 体幹を後方に傾けてもらう。
- 5 顎を上げてもらう。

問題 46 そしゃくきのう 咀嚼機能が低下した利用者の食事介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 大きめのスプーンで吸い込むように食べてもらう。
- 2 一口量は、ティースプーンに軽く一杯を目安にする。
- 3 食べる順番は、介護福祉職の判断で行う。
- 4 スプーンは、舌の奥にのせるように入れる。
- 5 そしゃく 咀嚼が始まったら、すぐに次の食べ物を口に入れる。

問題 47 Aさん(80歳, 女性, 要介護3)は、介護老人福祉施設で生活している。食事は見守りのもとでほぼ自力で摂取しているが、えんげきのう 嚥下機能は低下してきている。医師からは、食事摂取に配慮するように指導されている。ある日の昼食中、Aさんは食事を1/3ほど食べたところで箸を止め、表情がこわばり、呼吸もやや浅くなった。

次の記述のうち、介護福祉職が医療職に報告すると同時に、最初に行う対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

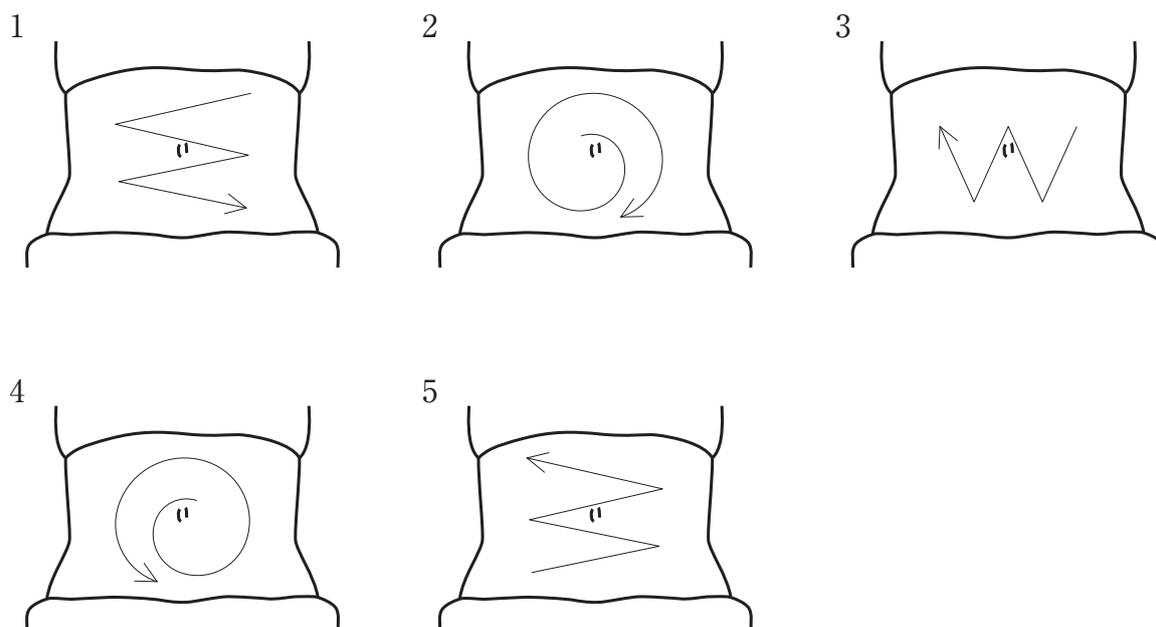
- 1 血圧を測定する。
- 2 こうくう 口腔の状況を観察する。
- 3 口すぼめ呼吸を促す。
- 4 その場で仰臥位(ぎょうがい はいがい 背臥位)になってもらう。
- 5 すぐに薬を服用してもらう。

問題 48 ベッド上で行う陰部洗浄に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 滅菌手袋を使用して行う。
- 2 上半身はベッドの手前端に移動する。
- 3 バスタオルで両下肢を包む。
- 4 洗浄する時は、43℃のお湯を用いる。
- 5 終了後は、蒸しタオルで水分を拭き取る。

問題 49 腹部の清拭の方法を図に示す。矢印は拭く方向を表している。

次のうち、基本的な清拭の方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。



問題 50 Aさん(55歳, 男性, 会社員)は, 20歳のときに交通事故で第5頸髄(C5) ^{けいずい}を損傷した。現在, 電動車いすを利用し, 自宅で自立した生活を送っている。身体状況は安定しているが, ときどき仙骨部に褥瘡 ^{じよくそう}ができることがある。入浴は, 居宅介護(ホームヘルプサービス)を利用して, 訪問介護員(ホームヘルパー)が福祉用具を用いて入浴介護をしている。

次のうち, Aさんが入浴時に使用している福祉用具として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 移乗台
- 2 バスボード
- 3 入浴用リフト
- 4 浴槽用手すり
- 5 滑り止めマット

問題 51 Aさん(85歳, 男性, 要介護3)は, アルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断され, 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)で生活をしている。入所時, Aさんは, 尿意や便意はあり, 自分でトイレに行って排泄 ^{はいせつ}できていた。最近, 認知機能の低下によって, トイレ以外の場所 ^{はいせつ}で排泄するようになった。

次の記述のうち, Aさんの状態に合わせた介護福祉職の対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 骨盤底筋訓練を行う。
- 2 紙おむつを使用する。
- 3 一日の水分摂取量を減らす。
- 4 ほかの利用者と同じ時間にトイレへ誘導する。
- 5 トイレの出入口に「トイレ」と書いた紙を貼る。

問題 52 次のうち、下痢をしている利用者の水分補給として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 白湯
- 2 牛乳
- 3 炭酸水
- 4 コーヒー
- 5 冷水

問題 53 Aさん(83歳, 男性, 要介護1)は, 一人暮らしで, 少額の年金で生活している。Aさんは軽度の認知症(dementia)と診断を受けている。近所には親しくしている人が複数人いる。ある日, 訪問介護員(ホームヘルパー)が訪問すると, 近所のスーパーで購入した未開封の健康食品が山積みになっていた。Aさんが財布を持ってきて, 「買いたいものがたくさんあるが, お金が足りない。どうしたらよいか」と訪問介護員(ホームヘルパー)に相談した。

このときの訪問介護員(ホームヘルパー)の対応に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「お金は足りているから安心して大丈夫ですよ」と伝える。
- 2 近所の親しい人に, 財布を預かってもらえるか, 聞いてみる。
- 3 鍵付きの引き出しに財布を入れ, 訪問介護員(ホームヘルパー)が鍵を管理する。
- 4 「お金の使い方について, 一緒に考えてみませんか」と提案する。
- 5 健康食品のクーリング・オフを勧める。

問題 54 繊維や衣類の性質と洗濯方法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 綿の柄物シャツには酸素系漂白剤を使う。
- 2 ナイロンのレインウエアは脱水時間を長くする。
- 3 ウールのニットセーターは乾燥機を使う。
- 4 レーヨンのパジャマはすすぎ時間を長くする。
- 5 絹のブラウスには弱アルカリ性洗剤を使う。

問題 55 Aさん(82歳, 女性, 要介護1)は, 訪問介護(ホームヘルプサービス)を週1回利用し, 生活援助を受けながら, 自宅で一人暮らしをしている。調理はAさん本人が行うなど, できることは自分で行いたいと思っている。ある日, 訪問介護員(ホームヘルパー)はAさんから買物リストを渡されて, 近くのスーパーで食材を購入してきた。

次の記述のうち, Aさんへの生活援助における訪問介護員(ホームヘルパー)の対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 依頼された食材が安かったので, リストに書かれた数より多く購入した。
- 2 おつりとレシート, 購入した食材の確認を, Aさんにすべて任せた。
- 3 冷蔵庫を開けたとき, 賞味期限切れの食材があったため廃棄した。
- 4 買物リストは, 次から訪問介護員(ホームヘルパー)が書くことを提案した。
- 5 購入した食材で調理しにくいものがないか, Aさんに確認した。

問題 56 次の記述のうち、良質な睡眠のための環境づくりとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日中は、強度の高い運動を多く取り入れる。
- 2 夜食は、就寝直前にとる。
- 3 入浴は、就寝の1～2時間前に行う。
- 4 眠気がなくても、決まった時間に目を閉じる。
- 5 寝ている間も、照明は明るくしておく。

問題 57 Aさん(83歳、女性、要介護3)は、脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症ひだりかたまひで左片麻痺があり、介護老人福祉施設に入所している。ある日の夜間、仰臥位ぎょうがい はい(背臥位がい)で寝ていたAさんが、「背中が重く感じて、眠れない」と介護福祉職に訴えた。

次の記述のうち、介護福祉職がAさんに行う介護として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ファーラー位にして、左下肢にクッションを入れる。
- 2 両上肢の下に、クッションを入れる。
- 3 両膝窩部りょうしつかぶに、クッションを入れる。
- 4 右側臥位みぎそくがいにして、クッションを抱いてもらう。
- 5 右下肢の足部に、クッションを入れる。

問題 58 次の記述のうち、介護老人福祉施設で、終末期にある利用者とその家族に行う介護福祉職の支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の苦しそうな姿を見せないように、家族には面会を控えてもらう。
- 2 利用者と家族の関係が良好でない場合は、家族と連絡を取らないようにする。
- 3 好きなものや食べたいものがある場合は、家族に持ってきてもらう。
- 4 苦痛を訴える場合は、家族から激励してもらう。
- 5 家族が不安になるため、体調の変化は伝えないようにする。

問題 59 次の記述のうち、施設で亡くなった利用者家族への介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 悲しみの表出があった時点からかかわりを開始する。
- 2 傾聴よりも励ますことを重視する。
- 3 悲嘆は特異な反応のため注意する。
- 4 故人との思い出には触れないようにする。
- 5 悲嘆が長期化した場合は、専門医等へ相談するように助言する。

問題 60 次のうち、固定式歩行器が適した利用者として、最も適切なものを1つ選
びなさい。

- 1 対麻痺で、下肢を交互に出すことができない人
- 2 片麻痺かたまひがあって、麻痺側まひそくの指関節の拘縮がある人
- 3 両上肢の筋力が弱く、手関節に痛みがある人
- 4 両手の握力が保たれていて、数秒程度の立位保持ができる人
- 5 右の足根骨を骨折して、右下肢に体重をかけることができない人

Aパートの問題はここまでです。